

自助グループ（ある意味でのピアカウンセリング）への参加を勧め、病気からの回復を促しています。



外来治療を行うにあたっては、医師との診察、服薬指導などに加え、公認心理師の心理療法を行いながら病気の回復を図っています。

外来受診が難しい方には、病院から外れた施設を設け、公認心理師との心理面接のみを行い、病気からの回復を図る施設（心理カウンセリング・ルーム“ココロプラス”）を設けています。

世界的にも、また、日本でも人口の高齢化が進み、高齢の方が家庭で過ごしておられる状況が多く認められています。先述しました認知症の方の中核症状である認知の障害（記銘力障害、見当識

障害、健忘などの障害）に加え、その方々に付随した対処困難な周辺症状に対して、外来、及び入院治療を行っています。新病院では認知症の方々の外来でのケアの一環として重度認知症デイ・ケアを新たに開設する予定にしています。認知症の方々に対し、入院、外来、デイ・ケアを利用していただき落ち着いた生活が過ごせるように働きかけを行っています。

このように新しくスタートした新病院で、病からの回復につなげ、健康的な生活を過ごしていただきますよう、これまで以上に診療に対する努力を行い、充実した医療の提供に努めてまいります。

今後とも、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

